

過去からの教訓 ～東日本大震災における安否確認の事例～

鉤取ニュータウン町内会(宮城県仙台市太白区)では、町内世帯すべてに「黄色い旗」を配布しており、災害時には、その家の家族全員が無事の場合は玄関先に「黄色い旗」を出し、「黄色い旗」が玄関に出ていない家庭に関して直接訪問して、安否確認をすることとしている。

東日本大震災時には午後2時46分の地震のあと、全世帯の8割が黄色い旗やハンカチ等で無事を知らせた。町内会役員が残りの世帯を回り、午後3時20分までには、負傷者等がないことを確認した。実際、震災当日に、自宅に不在で連絡がとれない住民が数人いたが、全て住民側から、鉤取ニュータウン町内会へ連絡があり、「〇〇にいて無事です」等の報告があった。

これも住民に日ごろの訓練が体に染み付いており、「自分がいなかったら、町内会が心配するだろう」という住民と町内会の信頼関係が成り立っているからこそこの結果である。各家庭の安否確認をすることは最も大切なことであり、そのためにも日ごろの訓練は絶対に必要である。

出典：消防庁 国民保護・防災部 防災課「東日本大震災における自主防災組織の活動事例集」

港区内でも多くの皆さんが参加されています！



強風の際は、
風で飛ばされないように
テープ等で固定！

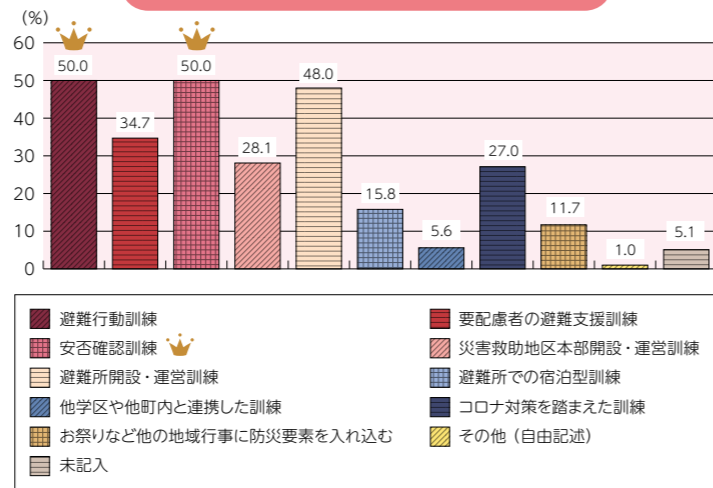


集計中…

集合住宅では
ベランダに掲げることで
集計がしやすい！

港区災害対策委員さん543人に聞いた

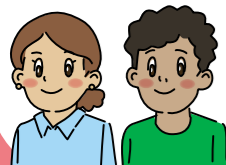
今後取り組みたい訓練 第1位！



出典：名古屋市防災危機管理局「地域防災についてのアンケート調査」(令和5年3月)

無事ですカードは 外国語(ポルトガル語)もあります！

外国人の方は言葉の壁等により災害時に救助・支援の手が届かない可能性があります。港区では外国人に配慮した防災活動に取り組んでいます。



町内会・自治会に入会しよう

本来、すべての市民が防災意識を持って地域の防災訓練などに参加するのが理想ではありますが、町内会に加入していないとなかなか参加できないのが現状です。いざというとき、すぐに対応できるのはご近所同士のみなさんです。地域で支えあい命を守る「共助」のコミュニティを持つことは、災害に備えるうえで非常に有効ですので、ぜひ町内会・自治会に加入しましょう。



「無事ですカード」を活用した 安否確認 体制づくり



安否確認ってなに？

安否確認とは、大きな災害が起きた時に、地域にお住まいの方々がお互いの無事を確認し合うことです。地域で安否確認の体制やルールが決められていると、救出や地域の助けを必要としている人の早期発見に至り、多くの命を救うことにつながります。

無事ですカードってなに？

災害時に「無事であること」を示すカードの事です。
港区では、玄関先などの目立つ場所に「無事ですカード」を掲げる事で円滑に安否確認ができる、「無事ですカード」を活用した安否確認体制づくりを勧めています。



無事ですカード

▼無事ですカードを掲げない場合と掲げる場合を比較してみよう！

	無事ですカードなしの場合	無事ですカードありの場合
安否情報	<p>外観からでは無事かどうか分からないため、安否が分かっている人が少ない！避難所で安否の情報を集約できない！</p>	<p>外観からわかるため、より多くの人に周知しやすく、避難所で安否を取りまとめられる！</p>
救助活動	<p>外観から各戸の安否が分からず探すのが大変!! 捜索に時間がかかると、助かる命も助かりません。</p>	<p>無事ですカードの掲出のない家だけが捜索対象になるので、本当に救助が必要な人を優先的に探せる!!</p>

いざという時に安否確認できるよう地域で安否確認訓練をしましょう!!

安否確認訓練ってどうやるの？

訓練前 組回覧等で訓練内容のお知らせがあります。

訓練当日

港消防隊員による解説動画はコチラ!
Youtube

発災

まずは自分の安全を確保!

シェイクアウト
まず低く → 頭を守り → 動かない

出口の確保、火災対策をする
ブレーカーの遮断
ガスの元栓を締める
火の元の確認

発災時に家にいる家族の安全を確かめる

無事ですカードを掲げる

無事ですカードは掲げない

救出や助けが必要

組長 各世帯の無事ですカードを確認
町内会長へ報告

災害救助地区本部(原則小学校)にてとりまとめ

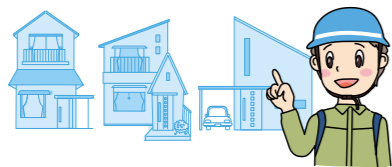
訓練後 無事ですカードは捨てずに、玄関などに保管していざというときに備えよう

無事ですカードは津波避難の時に活用できます!

! 港区では、津波の被害が想定されています

地域で津波避難前までに掲出するルールを決めておくと...

無事ですカードの掲出がある家は津波避難ができていると地域で把握できる!!



避難しないかも... 避難するように声掛けをしよう!

東日本大震災では家族の安否が確認できず、自宅に戻ってしまい津波の被害に遭った方が多くみえました。



安否確認中でも命を守る事が最優先!

大津波警報などが発表されている場合は、隣近所で声を掛け合い、安全な場所(津波避難ビル等)へ避難しましょう。また、津波到達予想時刻の30分前には安否確認を中断し、避難行動を優先させましょう。



名古屋市防災アプリダウンロードはこちらから!

津波浸水開始時間や津波基準水位を確認しよう



iOS

Android

最寄りの津波避難ビルはこちらから確認できます。

最寄りの避難所開設情報



近所同士の声掛けはとっても重要!

東日本大震災発災時、どんな情報を得て避難されましたか? (災害時要援護者315人対象)

1位	家族など同居している人の判断	101人
2位	近所の人、友人等面識のある人からの連絡や声掛け	97人
3位	福祉施設等の職員、ケアマネージャー、ヘルパー等からの連絡や声掛け	74人

家族からの声掛けと僅差!